

〈学校経営方針〉

一人一人の児童が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

〈学校教育目標〉

自律・共生



自律：自ら考え判断し行動する子供の育成

共生：多様な他者を尊重し共に生きようとする子供の育成

〈目指す児童像〉

- ・最後までやり遂げる **た**くましい子
- ・自ら考え判断する **か**しこい子
- ・仲間を大切にする **お**もいやりある子

〈目指す教職員像〉

- ・子供に寄り添う教職員
- ・子供の主体的な学びを支援する伴走者
- ・多様な人材や家庭と連携できる教職員

〈目指す学校像〉

- ・子供が主体的に活動する学校
- ・誰もが認められる学校

〈目指す授業像〉

- ・子供が主体的に考える授業
- ・子供同士の対話がある授業
- ・子供同士が認め合う授業

スローガン

「たかお ○ えがお」

具体的な授業改善

- ・学びに向かう力の育成を重視
- ・探求的な学習や体験活動の充実
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・「めあて」と「まとめ」を意識させる授業
- ・考え議論する道徳授業の定着
- ・児童主体の特別活動の充実
- ・端末を活用し個別最適な学びの実現
- ・端末を活用し協働的な学びの実現

共通実践事項

- ・支持的風土のある学級経営
- ・特別支援教育の充実
- ・ユニバーサルデザイン化の推進
- ・校内研修の充実
- ・「高尾スタンダード」の定着
- ・自主的な家庭学習の定着
- ・自己決定のための効果的な支援
- ・心のアンケート（いじめ）の活用
- ・きらきらカード（生活習慣）の活用

連携・協働

地域・家庭と連携した教育活動の推進

- ・地域と共にある学校づくり・家庭との連携・山里中学校区との連携・幼保小